

平成21年度  
9月補正予算案の概要

京 都 府



# 編成の基本的な考え方

厳しい雇用・経済情勢を踏まえ、当初予算、6月補正予算に続いて「京都温め予算」として、「生活」「雇用」を温めるとともに、緊急課題等への迅速な対応を図るための予算を編成

## 「生活」「雇用」を温める

- ◆ 高校生等修学支援
- ◆ 高齢者、障害者への支援
- ◆ 保育・子育て支援
- ◆ 農林業対策
- ◆ 環境・観光対策
- ◆ 京都の未来を担う人づくり事業

## 緊急課題等への対応

- ◆ 新型インフルエンザ対策
- ◆ 安心・安全対策等

「生活」「雇用」を温める



# 高校生等修学支援

高等学校等修学支援基金

## 私立高校授業料全額免除化緊急制度の創設

118百万円

➤私立高校の授業料減免について一部減免から全額免除化へと進展させるため（減免実績39%）※授業料減免額の授業料総額に占める割合



### ◎授業料を全額免除した私立高校に対する補助制度を創設

（対象者）失業・倒産による家計急変家庭、生活保護世帯

（補助額）年額118,800円（府立高校授業料相当額）

## 高校生等修学資金貸与事業費の増額

124百万円

### ◎急増する修学資金の利用者へ対応するための追加補正

※前年度に比べ約10%（約450人）の利用者増



# 高齢者・障害者への支援

## 介護予防安心住まい推進事業

12百万円

◎介護予防の必要な高齢者が居住する住宅改修に要する経費を助成

(補助対象者) 65歳以上の者で、要介護状態等となるおそれが高い状態にあると市町村が認めた者(市町村民税非課税世帯に限定)

※要介護(支援)認定者は介護保険制度に給付制度有り

(補助対象工事) 廊下等の手すり設置、住宅内の段差解消、便器の取り替え、床面の材料変更、引き戸への取り替え 等

## 福祉サービス利用援助事業

3百万円

◎高齢者、障害者等が利用する福祉サービス等の手続きに関する相談、代行等の支援を拡充

(事業内容)低所得者に対する利用料の公費負担を拡充

生活保護世帯のみ → 市町村民税非課税世帯にまで拡大



# 保育・子育て支援

185百万円

## 幼稚園・保育所子育て環境充実事業

こども未来基金

◎幼稚園・保育所に通う児童の子育て環境の整備・充実

(整備内容) 自動手指消毒器、空気清浄機、加湿器等

## 安心保育推進検討費

2百万円

府、市町村、関係団体による検討会議を設置

◎保育ニーズの実態を把握し、ワーク・ライフ・バランスの観点から多様な生活・勤務形態に対応した保育方策を検討

(保育ニーズ例) 事業所内保育、休日・夜間保育、院内保育、病児・病後児保育等



# 農林業対策

## 農作物生産確保等緊急対策事業

112百万円

- 日照不足等により農作物の生育不良や病害の影響を受けている農業者への支援
- ◎緊急施肥・緊急防除等支援事業  
農作物の生育回復のための追加施肥、病害に対する追加防除等に要する経費を助成
- ◎生育回復資材等支援事業  
農薬を使わない物理的な病害虫の防除資材の導入に要する経費を助成
- ◎生産準備支援事業  
来年の農作物の生産に向けた土壌改良や種子確保に要する経費を助成

## 京の森づくり緊急対策事業

600百万円

- ◎森づくり加速化事業  
林道を活用した林業の担い手育成につながる森林整備、路網整備の実施
- ◎林道機能強化事業  
丹波広域基幹林道の安全対策及び高性能機械の導入、大型車両の通行のための林道整備を行うことにより生産性の向上など林業の振興を促進

## 鳥獣害対策事業

緊急雇用対策基金

50百万円

野生鳥獣防護柵の点検・補強、バッファゾーン、管理歩道の整備 等



# 環境・観光対策

緊急雇用対策基金

## 北部環境・観光パワーアップ事業

47百万円

### ◎北部海岸クリーンアップ事業

北部地域の観光資源である海岸での漂着物のパトロール及び回収・処理、海岸保安林等の清掃、草刈り等

### ◎丹後観光特別キャンペーン事業

テレビ等マスメディアを活用した北部観光のPR、大都市圏等におけるイベント等の実施

## 道路・河川・公園等のクリーンアップ事業

221百万円

京都府内の道路、河川、公園等の清掃、草刈り等の実施





# 京都の未来を担う人づくり事業

緊急雇用対策基金

## 「京の伝統産業」未来を担う人づくり推進事業

110百万円

◎「京の名工」の指導による確かな伝統技術を備えた職人さんの養成

- (事業内容)・若手職人等が「京の名工」の指導を受けながら、京都の歴史的文化資料の修理・修復や伝統工芸品の制作を実施  
・参加した若手職人等に対して「修了証」を交付  
※育成人数:約300人(22年度に対象を拡大し本格的に実施)

## 「京の地域力」未来を担う人づくり推進事業

15百万円

◎地域社会における公共活動を担う新たな「地域公共人材」の養成

- (事業内容) 京都の産・官・学・民が連携し、「地域公共人材」を育成するための教育プログラムを開発  
※育成人数:5名程度(22年度に事業を拡大し本格的に実施)

府内企業の中核即戦力人材を育成する「京都未来を担う人づくり推進事業」(実施中)と合わせ、“未来の京都を担う人づくり”を総合的に推進

◆その他、介護・福祉研修代替職員派遣事業 等を実施

各種雇用対策事業の実施により

厳しい雇用失業情勢に対応

2,500人  
の仕事づくり

緊急課題等への対応



# 新型インフルエンザ対策

## ➤ 新型インフルエンザの今後の流行拡大に備えた対策

「新型インフルエンザインフォメーションセンター(仮称)」の開設

◎ 新型インフルエンザに関する相談、情報発信を総合的に実施

(開設時期) 平成21年10月

ハイリスク患者の診療体制整備

356百万円

◎ ハイリスク患者及び重症患者の入院・治療を行う医療機関の設備整備に対する助成

(補助対象) 感染防止クリーンベッド、人工呼吸機器の整備



# 安心・安全対策等

100百万円

## ◎消費者くらしの安心推進事業費

消費者行政活性化基金

- ▶「消費者あんしんチーム」に専門家を加え、複雑化する専門相談に対応
- ▶市町村の相談員設置や府消費生活安全センターの検査機器整備による相談・検査機能の強化

301百万円

## ◎全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備事業費

緊急地震速報や津波情報などの緊急情報を府、市町村、住民に伝達するシステムの整備

## ◎情報通信格差是正事業費

436百万円

携帯電話等の通信サービスの未提供地域を解消するために市町村が行う移動通信鉄塔の整備に補助



# 補正予算の規模

## 一般会計 9,658百万円

(うち 国基金事業の積立金 3,737百万円)

- 消費者行政活性化基金
- 高等学校等修学支援基金
- 地球温暖化対策等推進基金
- 医療施設耐震化特例基金

## 9月補正後予算額 932,643百万円

〔 参 考 : ㊿9月補正後 832,489百万円 〕